



ふれあい

第67号
2023年(令和5年)
7月15日

発行
長房地域住民協議会
八王子市長房町506-2
八王子市長房市民センター
☎042(664)4774
(公財)八王子市学園都市
文化ふれあい財団



最上の天候に恵まれて



散策記「いのはなトンネル」付近



手作りの作品の販売



センター内は作品展示室に



くじ引きに長蛇の列

長房話題★あれこれ

復活！鯉のぼり掲揚

長房地域住民協議会会長 松葉浩充

昨年規模を縮小して、鯉のぼりを掲揚しましたが、今年は例年並みに戻して実施しました。

好評の園児のぼりも飾れました。

新緑のなか、保育園・幼稚園の子供たち、多くの人が歩きやバスで見学来場され、みんな楽しそうに集合写真を撮っていました。

老人ホームの人たちも多数来場され、遊歩道での散歩の方達も立ち止まり見っていました。

4月の掲揚作業時にも見学者が多数ありました。これ等の作業は地域のボランティアで八日間、延二六〇名の方達の支援・協力により成り立っています。

4月16日の掲揚日は雨の中での作業も大変でした。5月4、5日の本番では天候にも恵まれ、4つの出店は大好評で2日とも午後早々に完売となりました。消防団の消防車での写真撮影は列をなして待っていました。

館内の作品展も見応えがあり天体星座の説明やフラワーアレンジメントも評価されました。センター職員の手込んだ折り紙も喜ばれました。

6月4日の総会では新たに3名の若手の入会がありました。期待しています。一方高齢化が進んでいて今までのようには出来るのが、今後の課題です。

今回盛況の内に来たのはそれぞれの部署で協力いただいた皆様のお蔭です。ありがとうございます。

★長房地域住民協のホームページ……「長房市民センター住民協議会だより」で検索してください。

防犯功労表彰受賞

三軒在家万代会長 古川りう子さんが「長年地域の安全と安心に尽力されたこと」に対して高尾警察署長より七月十二日表彰されました。古川さんは長年にわたり学校ボランティア、民生委員をされ地域老人会の会長を努められ現在も活動中です。このたびは誠にありがとうございました。(松葉)

センター利用グループの紹介(18)




三軒在家万会

三軒在家万会
「あなたも一緒に健康長寿をめざしませんか」
会員募集 (60歳以上)
★万会活動の一部をご紹介します★

歌き矢

輪投げ

カラオケ

旅行

ポッチャ

健康体操

趣味の会 史跡探訪 など...

先ずは一度、毎月の例会・誕生会(市民センター)に参加してみませんか。
会費：月200円
詳細は、お近くの会員・役員にお問合せください。

三軒在家万会(さんげんさいけいよろずかい)は、昭和四十六年に創立され、以来五十年あまりも続く、古くから地元根づいた老人クラブです。

創立時から会員七十四名、現在も八十二名の会員数を誇る、市民センター最大のグループでもあります。

発足当初は集まっておしゃべりするだけのお茶飲みサークルでしたが、初代会長の青木助三さんが史跡探索部を結成。歩きながら史跡を巡って足腰を鍛えようと毎月一回も休まずに続け、二百以上の史跡を訪ねたのだそうです。(現在、史跡探索部を引き継いだ伊藤完さんが案内役をつとめる「ふれあいウォーク」の元祖です)

会長に負けじとばかり、皆さんが得意の分野や趣味、ボランティア等で活動し、現在の万会の中には、読書部、民謡部、かるた部、手芸部、吟詠部、ゲートボール部、カラオケ部、輪投げ、ポッチャ、吹き矢などもあり、おどろくほど多岐にわたるサークル活動で盛り上がりがあります。

他にも社会奉仕ボランティアとしての施設慰問や清掃奉仕、おむつ作り、歳末たすけあい運動などの功績が認められ、何度も表彰を受けています。

また各種教養講座や各種お祝い会、研修旅行などの楽しいイベントも満載です。

センターの人気の秘密は、シニアパワー全開で好きなことを楽しめる、この充実度と自由さにあるのではないのでしょうか。

入会資格は、年齢だけ。六十歳以上のシニアの皆さん、ぜひとも一度参加して、元気を充電してみませんか？

長房ふれあいウォークへのお誘い

第11回目になります。「長房周辺散策記」読者の方々をお誘いして歩きます。歩きやすい服装でご参加ください。体温測定等コロナ禍の配慮もお願いします。

- 日時 2023年9月9日(土) 9時から12時 (雨天延期別途お知らせ)
- 集合場所 9時、長房市民センター
- コース 高尾駅から、駒木野庭園、小仏閑所跡、蛇滝口、高尾梅郷公園。今回は、初めてバスを使用したいと思います。(バス料金自己負担)
- 予約不要自由参加(参加費無料)資料をお渡します。
- 長房住民協議会の活動としてふれあい編集委員の伊藤(090-2738-3422)がご案内します。

★前回、春のウォークは多摩森林科学園★



第10回の参加者は約30名。気持ちの良い晴天に恵まれ皆様と一緒に、250種もの美しい桜を育てる多摩森林科学園と春の鎌倉街道を散策しました。



今回は長房からちようと離れますが小仏関所駒木野関所付近を巡りましょう。

小仏峠を越える甲州街道は江戸時代初期に大久保石見守長安によって開かれました。

それ以前は古甲州街道と呼ばれる府中の国府から日野を通り、八王子滝山から五日市、青梅、塩山に向かう道でした。

現在は大垂水峠を通ります。武田信玄が滝山城を攻めたときに小山田勢が甘里へ入るため小仏峠の道ができました。



長房 周辺 散策記 33

旧甲州街道小仏関所 付近を巡る

長房町会 伊藤 完

駒木野関所跡

関所は北条氏照が天正年間(1573~86)に甲州口警備のため小仏峠山頂に造られ「富士見関」とも言われていました。

これが元和2年(1616)に現地に移されました。この関所は木の柵で囲まれ東西数十mあり入口には門がありました。

徳川幕府の「入り鉄砲・出女」もあり不審者には厳しい取り調べがあり、関所破りや隙の刑に処せられた者もいたそうです。

いのはなトンネル慰霊碑

昭和20年8月5日の昼頃、下り列車が銃撃を逃れるためトンネルに入ろうとしたときに米軍のP51戦闘機が列車めがけて襲いかかった事件がありました。

国内における最大の列車銃撃事件でした。

蛇滝口



蛇滝口バス停の川沿いに千社札を張った平屋の家があります。修験者(高尾山参り)の宿泊所でした。旧甲州街道に面した蛇滝口が薬王院への旧表参道でした。

「はね板」と呼ばれる木札が軒下にズラリ掲げられています。

センター利用グループの紹介(17) 八王子ウチョウラン山草会



八王子ウチョウラン山草会は八王子また都内に住む会員で年一度、長房市民センターにおいて6月の第3土曜日と日曜日にウチョウラン、セッコク、風貴らん、苔玉その他の山野草を展示・即売し、来場者に栽培方法を教え、親睦を図り楽しむ会です。

090-3590-3228 ウチョウラン保存会 佐々木光司

犠牲者は60名余り、負傷者133名の被害でした。

「いのはな列車銃撃遭難者慰霊の会」が組織され、昭和60年に線路の南側に現在の慰霊碑が完成しました。

幅20センチ、長さ60センチ位の木札には講中名が書かれています。

「講」とは神仏に参詣するための組織で「富士講」「大山講」「善光寺講」などがあり、金融組合、相互扶助を行う頼母子講・無尽講などです。講員たちは「講」に会費を納め選ばれた人たちがそのお金でお参りに行きます。何回か繰り返しお参りできる仕組みです。

バス停の先西方向には、「峠尾豆腐店」があります。おからドーナツがおいしいです。



焼きそば・焼き鳥、おいしかった!

端午祭りは令和2年、3年はコロナ禍で開催できませんでした。が、昨年令和4年は鯉のぼり掲揚だけで多くの見物客を集めました。ふれあい65号にその「苦労ぶりが掲載されています。

さて、今年は鯉のぼり掲揚に加えて4グループの模擬店とセンター祭文化祭を継続している作品展示会が会議室でおこなわれました。

天候にも恵まれ、ゴールデンウィークでも遠出しない家族づれ、老若男女が大勢来場しました。



焼き鳥も焼きそばも、完売店続出



出店のオープンスペースも満杯です

長房町会の出店はコロナ以前同様、テント2張りに焼き鳥、焼きそば、お茶などの飲み物に生ビール、そして子ども向けのおもちゃのくじ引きなどが販売されました。両日とも焼き鳥は午後2時ごろに完売、焼きそばは2日目完売、くじ引きの箇所は長蛇の列になる盛況でした。

お客様方も3年ぶりのお祭りに盛り上がったおもしろい。端午祭りは平成元年に第一回を開催、平成14年に「八王子八十八景」に認定され、平成29年の市制百年で「八王子景観百」に選ばれました。

今回の端午祭りにあたっては、事前の準備・後片付け、開催中の事故防止等など見えないうまくできた皆さんの方々に協力をお祈りしました。

一日も早く鯉のぼりを揚げようと、先ず鯉のぼりの大きさを調べ、川を中心部から大きい鯉・小さい鯉へと並ぶように準備。

いよいよ掲揚する日には、あいにくの雨でしたが、見学者の期待に応えようと、雨中の作業を乗り越えました。

近隣の幼稚園・保育園から届く園児の「手作りこいのぼり」は、見学者の誰をも「ほっこり」と和ませてくれる、素敵な祭り賛歌です。

最近では、お手伝いを体験しようと、家族で申し出る見学者も増え、新たな楽しみ方を分かち合う喜びを頂きました。

これまでの長い歴史を歩んできた「端午祭り」で、交通事故が起きなかった陰には、交通安全協会の皆さんの協力と感謝しています。



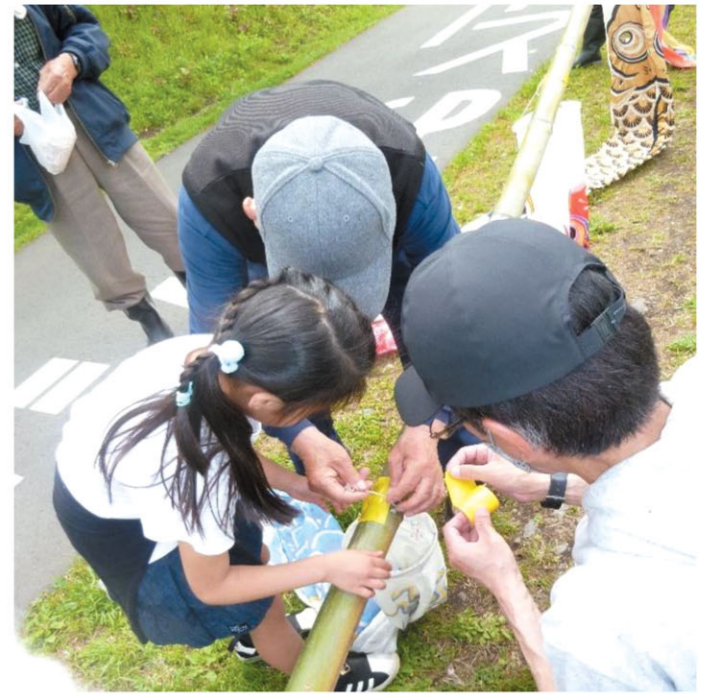
長房町会 伊藤 完

小さなボランティアさん

横山橋付近から上流に向かって竹のぼりを掲揚する作業を行った。

一竿に吹き流しと三つの鯉を強風で飛ばされないようにテープで固定する簡単な作業ではあるが、数が多いので手間がかかった。

市民センター前まで作業を進めていくと、両親と一緒に手伝いに来ていた女の子がずっと見ていた。



ボランティアのお手伝い

やりたそうな顔に見えたので声をかけると、頷いた。ボランティアさんの説明を聞きながら青色の鯉をつけ終わると、達成感なのか、とてもうれしそうな顔をした。

今回準備を手伝う形で参加したことで貴重な体験ができたのではないだろうか。

これからも地域活動に積極的にかかわっていくことを願っています。お手伝いありがとうございました。

八王子陵東自治会 塚田あけみ